

## A会場（11月29日（金）2日目）

8:45~9:35      口演:進行性失語①      座長:伊藤 皇一(医療法人敬寿会 吉村病院)

- 2A1-1    漢字の失書を主訴に来院し、重度の構成障害と同時失認様の視覚性注意障害の合併があきらかになった症例…………… 201  
 木村 史子<sup>1</sup> (きむら ふみこ)、小野内 健司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>おゆみの中央病院リハビリテーション部、<sup>2</sup>筑波病院脳神経内科
- 2A1-2    運動ニューロン疾患を伴う意味性認知症の言語症状は緩徐に進行する…………… 201  
 小林 良太<sup>1</sup> (こばやし りょうた)、川勝 忍<sup>2</sup>、林 博史<sup>1</sup>、大谷 浩一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学医学部精神医学講座、<sup>2</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座
- 2A1-3    緩徐な経過の意味性認知症から9年後に運動ニューロン疾患を合併した1剖検例…………… 202  
 川勝 忍<sup>1</sup> (かわかつ しのぶ)、小林 良太<sup>2</sup>、林 博史<sup>2</sup>、渋谷 譲<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>福島医大 会津医療センター 精神医学、<sup>2</sup>山形大学医学部 精神科、  
<sup>3</sup>日本海総合病院 精神科
- 2A1-4    構音の歪みを伴わない進行性非流暢性失語の一例…………… 202  
 柿沼 一雄<sup>1</sup> (かきぬま かずお)、成田 渉<sup>1</sup>、齋藤 裕美子<sup>1</sup>、森田 亜由美<sup>2</sup>、  
 小林 絵礼奈<sup>1</sup>、川上 暢子<sup>1</sup>、菅野 重範<sup>1</sup>、鈴木 匡子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学分野、  
<sup>2</sup>東北大学病院 リハビリテーション部
- 2A1-5    右半球優位の脳萎縮による語聾およびプロソディ障害を呈した神経変性疾患の1例…………… 203  
 小西 海香<sup>1</sup> (こにし みか)、斎藤 文恵<sup>1</sup>、田淵 肇<sup>1</sup>、馬島 恭子<sup>2</sup>、  
 岡本 康秀<sup>3</sup>、三村 将<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部神経内科、  
<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科

9:35~10:35      口演:進行性失語②      座長:池尻 義隆(一般財団法人 住友病院 メンタルヘルス科)

- 2A2-1    Logoclonia (語間代) の障害メカニズム—Logopenic から Logoclonia へ…………… 203  
 中川 良尚<sup>1</sup> (なかがわ よしたか)、船山 道隆<sup>2</sup>、笹嶋 侑子<sup>1</sup>、近藤 郁江<sup>1</sup>、  
 岩佐 香菜美<sup>1</sup>、原 未来<sup>1</sup>、木下 結理<sup>1</sup>、佐野 洋子<sup>1</sup>、山谷 洋子<sup>3</sup>、加藤 正弘<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>江戸川病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>足利赤十字病院神経精神科、  
<sup>3</sup>江戸川病院神経内科
- 2A2-2    Logopenic 型原発性進行性失語例の発話における音韻論的变化の検討…………… 204  
 田中 春奈<sup>1</sup> (たなか はるな)、吉野 眞理子<sup>2</sup>、加藤 貴行<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>筑波大学大学院 人間総合科学研究科

2A2-3	<b>原発性進行性発語失行から前部弁蓋部症候群 (Foix-Chavaney-Marie 症候群) を呈した 1 症例</b> …………… 204 田中 裕子 <sup>1,2</sup> (たなか ゆうこ)、大槻 美佳 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 医療法人 さとに田園クリニック リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 北海道大学大学院保健科学院、 <sup>3</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院
2A2-4	<b>音の歪みがなく、音の連結不良が顕著な原発性進行性発語失行の 1 例</b> …………… 205 小川 七世 <sup>1,2</sup> (おがわ ななよ)、太田 祥子 <sup>2</sup> 、寺尾 心一 <sup>3</sup> 、鈴木 匡子 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 春日井市民病院 リハビリテーション技術室、 <sup>2</sup> 東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学、 <sup>3</sup> 春日井市民病院 脳神経内科
2A2-5	<b>発語失行を伴わない進行性非流暢性失語の一症例</b> …………… 205 加藤 直志 <sup>1</sup> (かとう なおし)、石井 一弘 <sup>2</sup> 、寺元 洋平 <sup>1</sup> 、上野 友之 <sup>1</sup> 、 石井 賢二 <sup>3</sup> 、羽田 康司 <sup>1</sup> 、玉岡 晃 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 筑波大学附属病院リハビリテーション部、 <sup>2</sup> 筑波大学附属病院神経内科、 <sup>3</sup> 東京都健康長寿医療センター
2A2-6	<b>意味性認知症の呼称訓練～意味的ヒントと自伝的ヒントの比較～</b> …………… 206 高木 早希 <sup>1</sup> (たかぎ さき)、大門 正太郎 <sup>2</sup> 、富満 弘之 <sup>3</sup> 、大槻 美佳 <sup>4</sup> <sup>1</sup> JA とりで総合医療センター リハビリテーション部、 <sup>2</sup> クラーク病院 リハビリテーション部、 <sup>3</sup> JA とりで総合医療センター 脳神経内科、 <sup>4</sup> 北海道大学大学院 保健科学研究院

10:45～11:25 口演:言語学的分析

座長:藤田 郁代(国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科)

2A3-1	<b>発語失行 (apraxia of speech) における発話の誤りの変動性</b> …………… 206 川邊 圭太 <sup>1</sup> (かわべ けいた)、吉野 真理子 <sup>2</sup> 、川間 健之介 <sup>2</sup> 、渡邊 幸多 <sup>1</sup> 、 平林 三和子 <sup>1</sup> 、榎本 葵 <sup>1</sup> 、小林 華英 <sup>1</sup> 、澤入 美佳 <sup>1</sup> 、小林 拓実 <sup>1</sup> 、 池尻 彩子 <sup>1</sup> 、高橋 令 <sup>1</sup> 、志澤 綾子 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 農協共済中伊豆リハビリテーションセンター リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
2A3-2	<b>錯文法を呈した流暢性失語症の一症例</b> …………… 207 杉本 春香 (すぎもと はるか)、中平 明子 荻原みさき病院 リハビリテーション部
2A3-3	<b>音韻性失名辞にみられた複合語の音断片の検討～形態素と音韻情報の関連～</b> …………… 207 能登 栞 <sup>1</sup> (のとしおり)、大門 正太郎 <sup>1</sup> 、大槻 美佳 <sup>2</sup> <sup>1</sup> クラーク病院、 <sup>2</sup> 北海道大学大学院 保健科学研究院
2A3-4	<b>失語症例の単語理解における漢字・仮名の文字種の影響について</b> …………… 208 宮崎 泰広 <sup>1</sup> (みやざき やすひろ)、種村 純 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 思誠会 渡辺病院 リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部

12:45~13:45 **Debate企画:case studyか、mass studyか**  
 司会:岩田 誠(メディカルクリニック柿の木坂)

- DP1 **mass study** ..... 102  
 森 悦朗 (もり えつろう)  
 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学 寄附講座/  
 東北大学名誉教授
- DP2 **Case report : 一症例の衝撃** ..... 103  
 平山 和美 (ひらやま かずみ)  
 山形県立保健医療大学作業療法学科

13:45~14:35 **教育講演:言語と意味記憶:Cognitive Neurophysiologyの立場から**  
 司会:池田 学(大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室)

- EL **言語と意味記憶 : Cognitive Neurophysiology の立場から** .....78  
 松本 理器 (まつもと りき)  
 神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学分野

14:45~16:45 **シンポジウム1:高次脳機能障害者・認知症者の自動車運転を考える**  
 司会:蜂須賀研二(九州労災病院門司メディカルセンター)  
 三村 将(慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室)

- S1-1 **脳疾患・脳外傷における自動車運転再開・中止の手順**..... 106  
 加藤 徳明 (かとう のりあき)  
 産業医科大学若松病院リハビリテーション科 / 産業医科大学リハビリテーション医学講座
- S1-2 **脳卒中, 脳外傷等により高次脳機能障害が疑われる場合の  
 自動車運転に関する神経心理学的検査法の適応と判断**..... 107  
 石合 純夫<sup>1</sup> (いしあい すみお)、加藤 徳明<sup>2</sup>、加藤 貴志<sup>3</sup>、佐藤 卓也<sup>4</sup>、  
 水谷 宣昭<sup>5</sup>、山田 恭平<sup>6</sup>、蜂須賀 研二<sup>7</sup>  
<sup>1</sup> 札幌医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座、  
<sup>2</sup> 産業医科大学若松病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 井野辺病院総合リハビリテーションセンター、<sup>4</sup> 新潟リハビリテーション病院、  
<sup>5</sup> 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局、  
<sup>6</sup> 北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部、  
<sup>7</sup> 九州労災病院門司メディカルセンター
- S1-3 **実車評価について  
 国立障害者リハビリテーションセンターでの取り組み**..... 108  
 水谷 宜明 (みずたに のりあき)  
 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局
- S1-4 **失語症と運転**..... 109  
 佐藤 卓也 (さとう たくや)  
 新潟リハビリテーション病院リハビリテーション部言語聴覚科
- S1-5 **認知症と自動車運転 - 改正道路交通法と臨床現場での課題** ..... 110  
 上村 直人 (かみむら なおと)  
 高知大学医学部附属病院 精神科

## B会場（11月29日（金） 2日目）

8:45~9:25      口演:機能画像②      座長:石原 健司(旭神経内科リハビリテーション病院 神経内科)

- 2B1-1      **左前頭弁蓋部病変に対する覚醒下手術後に伝導失語を呈した症例**…………… 211  
 澤木 優治<sup>1</sup> (さわき まさはる)、前澤 聡<sup>2</sup>、山本 裕泰<sup>1</sup>、本村 和也<sup>2</sup>、  
 若林 俊彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
- 2B1-2      **WADA テストにおいて左右両半球で失語症状を呈した右内頸動脈による  
 両側前大脳動脈領域支配の一例**…………… 211  
 福田 あつみ<sup>1</sup> (ふくだ あつみ)、寺元 洋平<sup>1</sup>、加藤 直志<sup>1</sup>、宮本 智志<sup>2</sup>、  
 増田 洋亮<sup>2</sup>、羽田 康司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学附属病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>筑波大学 医学医療系 脳神経外科
- 2B1-3      **左側頭後頭葉底面の皮質電気刺激により顔の幻視とパレイドリアを呈した 1 例** … 212  
 細川 大瑛<sup>1</sup> (ほそかわ ひろあき)、柿沼 一雄<sup>1</sup>、上利 大<sup>2</sup>、浮城 一司<sup>2</sup>、  
 佐藤 貴文<sup>2</sup>、大沢 伸一郎<sup>3</sup>、神 一敬<sup>2</sup>、中里 信和<sup>2</sup>、富永 悌二<sup>3</sup>、鈴木 匡子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野、  
<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野、  
<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科脳神経外科学分野
- 2B1-4      **Frontal aslant tract 近傍の脳腫瘍例における覚醒下手術中の言語所見** …… 212  
 若松 千裕<sup>12</sup> (わかまつ かずひろ)、石合 純夫<sup>12</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座

9:35~10:25      口演:視覚性失認      座長:高橋 伸佳(脳神経内科 津田沼)

- 2B2-1      **左側頭葉に病変を有する相貌失認の 2 症例** …………… 213  
 栗原 恵理子<sup>1</sup> (くりばら えりこ)、堀川 楊<sup>2</sup>、小山 京<sup>3</sup>、渡部 裕美子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>信楽園病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>堀川内科・神経内科医院、  
<sup>3</sup>信楽園病院 脳神経外科、<sup>4</sup>信楽園病院 脳神経内科
- 2B2-2      **右一側の後頭葉病変により連合型視覚失認を呈した一例**…………… 213  
 二村 美也子<sup>1</sup> (ふたむら みやこ)、藤井 正純<sup>2</sup>、小林 俊輔<sup>3</sup>、平山 和美<sup>4</sup>、  
 黒見 洋介<sup>3</sup>、大井 直往<sup>1</sup>、齋藤 清<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学 附属病院 リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>福島県立医科大学 医学部 脳神経外科講座、  
<sup>3</sup>福島県立医科大学 医学部 脳神経内科講座、<sup>4</sup>山形県立保健医療大学 作業療法学科
- 2B2-3      **顔貌による人物認識が困難であった先天性相貌失認の一症例**…………… 214  
 赤澤 早百合<sup>1</sup> (あかざわ さゆり)、青木 美稚子<sup>1</sup>、川口 杏夢<sup>2</sup>、古河 慶子<sup>2</sup>、  
 小泉 直史<sup>3</sup>、原 斉<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>淀川キリスト教病院 リハビリテーション課、  
<sup>2</sup>淀川キリスト教病院 リハビリテーション科、<sup>3</sup>淀川キリスト教病院 脳血管神経内科

- 2B2-4 **両側側頭後頭葉病変により視覚失認及び相貌失認、  
大脳性色覚障害を来した 1 例** ..... 214  
 田端 啓那<sup>1</sup> (たばた ひろな)、岩切 夏華<sup>1</sup>、石田 名奈<sup>1</sup>、田口 智子<sup>1</sup>、  
 ナクラ 早都子<sup>1</sup>、山田 浩二<sup>1</sup>、稲富 雄一郎<sup>2</sup>、米原 敏郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 済生会熊本病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup> 済生会熊本病院 脳神経内科
- 2B2-5 **左視床出血後に視覚失認 / 視覚失語、失読を呈した 1 例** ..... 215  
 相場 恵美子<sup>1</sup> (あいば えみこ)、柄澤 明子<sup>2</sup>、西川 太郎<sup>2</sup>、森田 幸太郎<sup>3</sup>、  
 岡本 浩一郎<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 新潟大学脳研究所脳神経外科学分野、<sup>2</sup> 桑名病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup> 桑名病院脳神経外科、<sup>4</sup> 新潟大学脳研究所トランスレーショナル研究分野

10:35~11:35 **口演:失認 座長:永井知代子(帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科)**

- 2B3-1 **触覚消去現象の改善過程における両手同時物品同定課題による検討** ..... 215  
 比田 亜希<sup>1</sup> (ひだ あき)、伊藤 皇一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 前: 錦海リハビリテーション病院、<sup>2</sup> 医療法人 敬寿会 吉村病院
- 2B3-2 **脳梗塞後にアナログ時計の読み取り障害を呈した一例** ..... 216  
 後藤 彩<sup>1</sup> (ごとう あや)、相場 恵美子<sup>2</sup>、梨本 岳雄<sup>3</sup>、西川 太郎<sup>4</sup>、  
 岡本 浩一郎<sup>5</sup>  
<sup>1</sup> 社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 新潟大学脳研究所 脳神経外科学教室、  
<sup>3</sup> 社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院 脳神経外科、  
<sup>4</sup> 社会医療法人 桑名恵風会 桑名病院 リハビリテーション科、  
<sup>5</sup> 新潟大学脳研究所 トランスレーショナル研究分野
- 2B3-3 **右側頭葉病変による環境音失認についての検討** ..... 216  
 白石 智順<sup>1</sup> (しらいし ともゆき)、杉原 芳子<sup>2</sup>、前田 憲吾<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 国立病院機構 東近江総合医療センター 言語聴覚士、  
<sup>2</sup> 国立病院機構 紫香楽病院 神経内科、  
<sup>3</sup> 国立病院機構 東近江総合医療センター 神経内科
- 2B3-4 **パーキンソン病における視覚性および触覚性の質感認知** ..... 217  
 親富祖 まりえ<sup>1</sup> (おやふそ まりえ)、馬場 徹<sup>1,2</sup>、川崎 伊織<sup>2</sup>、成田 渉<sup>1</sup>、  
 菅野 重範<sup>1</sup>、武田 篤<sup>2</sup>、鈴木 匡子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 東北大学医学系研究科高次脳機能障害学分野、<sup>2</sup> 仙台西多賀病院脳神経内科
- 2B3-5 **特徴的な構成障害を呈した街並失認の一例** ..... 217  
 芝田 博文 (しばた ひろふみ)、平石 視来  
 総合上飯田第一病院
- 2B3-6 **パーキンソン病の錯視** ..... 218  
 佐々木 千波<sup>1,2</sup> (ささき ちなみ)、高橋 寛人<sup>1</sup>、和田 千鶴<sup>1</sup>、横井 香代子<sup>2</sup>、  
 平山 和美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 独立行政法人 国立病院機構 あきた病院、  
<sup>2</sup> 山形県立保健医療大学大学院 作業療法学講座

11:45~12:35 ランチョンセミナー3 司会:福井 俊哉(かわさき記念病院)

LS3 認知症とてんかん  
田淵 肇 (たぶち はじめ)  
慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

共催:エーザイ株式会社

12:45~13:45 口演:情動障害・精神症状  
座長:穴水 幸子(国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部  
心理学科)

- 2B4-1 前頭葉腫瘍摘出後に生じた Apathy の質的差異についての検討 ..... 218  
川村 藍<sup>1</sup>(かわむら あい)、山本 裕泰<sup>1</sup>、本村 和也<sup>2</sup>、原 大介<sup>1</sup>、  
田中 伸弥<sup>1</sup>、松井 泰行<sup>1</sup>、夏目 敦至<sup>2</sup>、若林 俊彦<sup>2</sup>、岡田 貴士<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学、  
<sup>3</sup>名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科
- 2B4-2 多発性脳梗塞による社会的認知障害 ..... 219  
永井 知代子<sup>1</sup>(ながい ちよこ)、桑原 碧<sup>2</sup>、山口 尚美<sup>3</sup>、園生 雅弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科、<sup>2</sup>帝京大学医学部脳神経内科、  
<sup>3</sup>益子病院リハビリテーション科
- 2B4-3 ヘルペス脳炎後、口唇傾向とカテゴリー特異的理解障害を呈した一例  
異物は食べ物と認知されているのか? ..... 219  
熊倉 真理(くまくら まり)  
社会医療法人 米盛病院
- 2B4-4 右基底核胚細胞腫瘍に関連した精神症状・注意障害・記憶障害が  
複合的な要因によって変動した小児の1例 ..... 220  
伊関 千書<sup>1</sup>(いせき ちふみ)、簡野 宗明<sup>2</sup>、中村 和幸<sup>3</sup>、松田 憲一朗<sup>4</sup>、  
小山 信吾<sup>1</sup>、石澤 賢一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学医学部 内科学第三講座、<sup>2</sup>山形大学医学部 精神医学講座、  
<sup>3</sup>山形大学医学部 小児医学講座、<sup>4</sup>山形大学医学部 脳神経外科
- 2B4-5 右側頭葉の脳梗塞の再発で社会的行動障害を呈したウェルニッケ失語例  
—プロソディ理解障害の観点からの分析 ..... 220  
有川 瑛人<sup>12</sup>(ありかわ えいと)、窪田 正大<sup>2</sup>、原 有希<sup>1</sup>、原口 友子<sup>1</sup>、  
堀ノ内 啓介<sup>3</sup>、高田 昌実<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>医療法人玉昌会 加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>鹿児島大学大学院 保健学研究科、  
<sup>3</sup>医療法人玉昌会 加治木温泉病院 リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>医療法人玉昌会 加治木温泉病院 内科
- 2B4-6 アパシーのサブタイプに応じた実用的な能力の獲得を図った一例 ..... 221  
川上 寿一<sup>12</sup>(かわかみ じゅいち)、林 美岐<sup>2</sup>、川本 潔<sup>2</sup>、竹村 壮司<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>滋賀県立リハビリテーションセンター、<sup>2</sup>滋賀県立総合病院

- 2B5-1 意味性認知症を呈した患者と家族に対して言語聴覚士が  
長期的介入を行った経験…………… 221  
藤本 麻美 (ふじもと あさみ)、多田 英美  
東海大学医学部附属病院 リハビリテーション技術科
- 2B5-2 右優位の側頭葉萎縮による意味性認知症の一例…………… 222  
目黒 祐子<sup>1</sup> (めぐろ ゆうこ)、菊池 大一<sup>2</sup>、藤盛 寿一<sup>2</sup>、松田 実<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東北医科薬科大学病院 リハビリテーション部 言語心理部門、  
<sup>2</sup>東北医科薬科大学 老年神経内科学、<sup>3</sup>清山会いずみの杜診療所
- 2B5-3 認知症患者に対するメモリーブックを用いた介入 第2報  
メモリーブックの内容分析…………… 222  
飯干 紀代子<sup>1</sup> (いひほし きよこ)、山之内 育子<sup>1</sup>、實地 沙紀<sup>1</sup>、泓田 正雄<sup>2</sup>、  
宮崎 康広<sup>3</sup>、吉畑 博代<sup>4</sup>、種村 純<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>志學館大学 人間関係学部、<sup>2</sup>徳島大学 理工学部、  
<sup>3</sup>関西電力医学研究所 リハビリテーション医学研究部、  
<sup>4</sup>上智大学大学院 言語科学研究科、<sup>5</sup>川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部
- 2B5-4 特異な経過を辿った左側頭葉萎縮例…………… 223  
坂井 麻里子<sup>1,2</sup> (さかい まりこ)、伊藤 皇一<sup>3,4</sup>、鐘本 英輝<sup>5</sup>、末廣 聖<sup>5</sup>、  
西川 隆<sup>6</sup>、池田 学<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>大阪府済生会茨木病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所、<sup>3</sup>吉村病院 精神科、  
<sup>4</sup>小池診療所、<sup>5</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、  
<sup>6</sup>奈良学園大学保健医療学部

- S2-1 導入講演:大脳機能の左右差…………… 112  
西尾 慶之 (にしお よしゆき)  
東京都立松沢病院 精神科・神経内科
- S2-2 新皮質型アルツハイマー病:  
posterior cortical atrophy と logopenic progressive aphasia …… 113  
成田 渉 (なりた わたる)  
東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野
- S2-3 前頭側頭葉変性症:意味記憶と行動の左右差…………… 114  
品川 俊一郎 (しながわ しゅんいちろう)  
東京慈恵会医科大学 精神医学講座
- S2-4 レビー小体型認知症における症候の左右差…………… 115  
檜林 哲雄<sup>1</sup> (かしばやし てつお)、高橋 竜一<sup>2</sup>、數井 裕光<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>高知大学医学部 神経精神医学講座、  
<sup>2</sup>兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 認知症疾患医療センター

## C会場（11月29日（金） 2日目）

8:45～9:45 **神経心理学入門 教育セミナー4:記憶障害のみかた**  
 司会:田中 裕(医療法人 緑会 たなかクリニック)

ES4 **記憶障害のみかた**  
 今村 徹 (いまむら とおる)  
 新潟医療福祉大学大学院 保健学専攻言語聴覚学分野

9:45～10:45 **神経心理学入門 教育セミナー5:右半球症状のみかた**  
 司会:飯干 紀代子(志學館大学 人間関係学部)

ES5 **右半球症状のみかた**  
 太田 久晶 (おおた ひさあき)  
 札幌医科大学 保健医療学部作業療法科

10:45～11:45 **神経心理学入門 教育セミナー6:機能解剖と画像診断**  
 司会:長田 乾(医療法人社団 緑会 横浜総合病院 臨床研究センター)

ES6 **機能解剖と画像診断**  
 藤井 正純 (ふじい まさずみ)  
 福島県立医科大学 脳神経外科学講座

11:45～12:35 **認知症セミナー2**  
 司会:松田 実(清山会医療福祉グループ顧問/いずみの杜診療所)

DS2 **認知症新時代～どこから来てどこに行くのか～**  
 山崎 英樹 (やまざき ひでき)  
 清山会医療福祉グループ代表/いずみの杜診療所

共催：清山会医療福祉グループ

12:45～13:45 **口演:錯語** **座長:水田 秀子(藤井会リハビリテーション病院)**

2C1-1 **形式性錯語は音韻性錯語に最も関連する可能性**…………… 227  
 船山 道隆<sup>1</sup> (ふなやま みちたか)、中川 良尚<sup>2</sup>、川島 広明<sup>3</sup>、中島 明日佳<sup>3</sup>、  
 三村 将<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>足利赤十字病院神経精神科、<sup>2</sup>江戸川病院リハビリテーション科、  
<sup>3</sup>足利赤十字病院リハビリテーション科、<sup>4</sup>慶應義塾大学医学部精神神経科

2C1-2 **失語症者の呼称課題における意味性錯語の頻度**…………… 227  
 中村 光<sup>1</sup> (なかむら ひかる)、玉置 円<sup>2</sup>、藤本 憲正<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科、<sup>2</sup>倉敷平成病院リハビリテーション部

2C1-3	<b>錯語と自己修正パターンの検討</b> …………… 228
	加藤 孝政 <sup>1</sup> (かとう たかまさ)、大槻 美佳 <sup>2</sup> 、井川 大樹 <sup>1</sup> 、藤重 正人 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 北海道大学大学院保健科学研究院、 <sup>3</sup> 新さっぽろ脳神経外科病院 脳神経外科
2C1-4	<b>呼称課題における意味性錯語等の出現に影響する単語属性について</b> …………… 228
	石井 由起 <sup>1</sup> (いしい ゆき)、宇野 彰 <sup>2</sup> 、春原 則子 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 川口市立医療センター リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 筑波大学、 <sup>3</sup> 目白大学
2C1-5	<b>中等度非流暢性失語症者 1 例の発話障害について 一意味性錯語を中心とした呼称誤反応からの検討</b> …………… 229
	笹嶋 侑子 <sup>1</sup> (ささじま ゆうこ)、中川 良尚 <sup>1</sup> 、近藤 郁江 <sup>1</sup> 、岩佐 香菜美 <sup>1</sup> 、 原 未来 <sup>1</sup> 、木下 結理 <sup>1</sup> 、佐野 洋子 <sup>1</sup> 、船山 道隆 <sup>2</sup> 、山谷 洋子 <sup>3</sup> 、加藤 正弘 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 江戸川病院リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科、 <sup>3</sup> 江戸川病院神経内科
2C1-6	<b>呼称場面で形式性錯語を多く認めた流暢性失語 2 例</b> …………… 229
	元木 雄一朗 <sup>1</sup> (もとぎ ゆういちろう)、渡邊 妙美 <sup>1</sup> 、赤池 絢 <sup>1</sup> 、武井 徳子 <sup>1</sup> 、 東川 麻里 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション部、 <sup>2</sup> 北里大学 医療衛生学部
13:45~14:35 <b>口演:ジャルゴン</b> 座長:東川 麻里(北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻)	
2C2-1	<b>表記不能型ジャルゴンを呈した Wernicke 失語の訓練経過</b> …………… 230
	水谷 亮太 (みずたに りょうた)、坂上 知津 医療法人大植会 葛城病院 リハビリテーション部 言語療法課
2C2-2	<b>再帰性発話と特異なジャルゴン様発話を呈した 1 失語症例における 語の復唱能力改善過程</b> …………… 230
	高野 裕輝 <sup>1</sup> (たかの ひろあき)、山崎 勝也 <sup>2</sup> 、石山 由佳 <sup>2</sup> 、小宮 桂治 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 日本福祉教育専門学校、 <sup>2</sup> 済生会東神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーションセラピスト科、 <sup>3</sup> ながせき頭痛クリニック 神経心理臨床研究室
2C2-3	<b>長期の個別言語聴覚療法により会話能力に改善を認めたジャルゴン失語の一例</b> …………… 231
	多田 天子 <sup>1</sup> (ただ たかね)、菅野 倫子 <sup>2</sup> 、貫井 さと子 <sup>1</sup> 、我妻 恵 <sup>1</sup> 、 川村 なごみ <sup>1</sup> 、石川 志帆 <sup>1</sup> 、草野 修輔 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 国際医療福祉大学三田病院リハビリテーション室、 <sup>2</sup> 国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科、 <sup>3</sup> 国際医療福祉大学三田病院リハビリテーション科
2C2-4	<b>左視床を含む脳出血によりつじつまの合わない発話が続く 1 例</b> …………… 231
	中島 明日佳 <sup>1</sup> (なかじま あすか)、船山 道隆 <sup>2</sup> 、中村 智之 <sup>1</sup> 、稲葉 貴恵 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 足利赤十字病院リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 足利赤十字病院神経精神科

2C2-5 脳出血後にジャルゴンを呈したもやもや病の 1 例  
—新造語の発現機序を中心に…………… 232

内山 圭子<sup>1</sup> (うちやま けいこ)、中馬 孝容<sup>1</sup>、佐敷 俊成<sup>1</sup>、國場 さやか<sup>1</sup>、  
辻 香苗<sup>1</sup>、松田 実<sup>2</sup>

<sup>1</sup>滋賀県立総合病院、<sup>2</sup>清山会いずみの杜診療所

## D会場（11月29日（金）2日目）

8:45~9:35      口演:行為・動作の障害①      座長:元村 直靖(大阪医科大学 看護学部)

- 2D1-1    **上肢の使用順序と動作方法の工夫により両手動作が可能となった  
大脳皮質基底核変性症患者一例の介入経験**…………… 235  
 田畑 阿美<sup>1</sup> (たばた あみ)、樽野 陽亮<sup>2</sup>、上田 敬太<sup>3</sup>、田嶋 あゆみ<sup>4</sup>、  
 村井 俊哉<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、  
<sup>2</sup>京都大学大学院 医学研究科 脳神経内科学、  
<sup>3</sup>京都大学大学院 医学研究科 精神医学、  
<sup>4</sup>京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部
- 2D1-2    **右半球損傷で出現する眼鏡と衣服の着用障害の要因に関する検討**…………… 235  
 山本 潤<sup>1</sup> (やまもと じゅん)、前田 眞治<sup>2</sup>、菅原 光晴<sup>3</sup>、原 麻理子<sup>4</sup>、  
 近藤 智<sup>5</sup>、掬川 晃一<sup>6</sup>、津嶋 かれん<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院 リハビリテーション学分野、  
<sup>3</sup>ふじの温泉病院 リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 作業療法学科、  
<sup>5</sup>厚木市立病院 リハビリテーション技術科、<sup>6</sup>花はたりリハビリテーション病院
- 2D1-3    **外傷性前大脳動脈解離後に質的に異なる随意動作障害を伴った  
'alien hand' 例**…………… 236  
 大石 如香<sup>12</sup> (おおいし ゆか)、山川 達志<sup>34</sup>、永沢 光<sup>3</sup>、今村 徹<sup>12</sup>、  
 鈴木 匡子<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>新潟医療福祉大学言語聴覚学科、<sup>2</sup>新潟医療福祉大学大学院保健学専攻言語聴覚学分野、  
<sup>3</sup>山形県立中央病院脳神経内科、<sup>4</sup>国立病院機構山形病院脳神経内科、  
<sup>5</sup>東北大学医学系研究科高次脳機能障害学
- 2D1-4    **右後部帯状回皮質下出血後に左上肢の自己所属感・行為の障害が見られた症例**…………… 236  
 今田 泰裕<sup>12</sup> (いまだ やすひろ)、備酒 睦子<sup>1</sup>、三浦 靖史<sup>2</sup>、中嶋 千也<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>神戸掖済会病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>神戸大学大学院保健学研究科、  
<sup>3</sup>神戸掖済会病院 脳神経外科
- 2D1-5    **口頭指示での左上肢一側の運動が困難であったびまん性脳損傷例**…………… 237  
 金子 隆生 (かねこ たかお)、丸山 亜衣、諸橋 哲  
 山形県立新庄病院 リハビリテーション室

9:45~10:35      口演:行為・動作の障害②  
 座長:種村 留美(神戸大学生命・医学系保健学域 リハビリテーション科学領域  
 運動機能障害学分野)

- 2D2-1    **上肢運動拙劣症に対する手袋机上滑り訓練による治療報告**…………… 237  
 掬川 晃一<sup>1</sup> (きくかわ こういち)、永井 公規<sup>1</sup>、松尾 美鈴<sup>1</sup>、小林 勇基<sup>2</sup>、  
 近藤 智<sup>3</sup>、廣島 拓也<sup>1</sup>、中村 彩乃<sup>1</sup>、大館 哲詩<sup>1</sup>、井筒 隆文<sup>1</sup>、山本 潤<sup>4</sup>、  
 前田 眞治<sup>5</sup>、福島 匡道<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>苑田会 花はたりリハビリテーション病院、<sup>2</sup>イムス葛飾ハートセンター、<sup>3</sup>厚木市立病院、  
<sup>4</sup>国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科、<sup>5</sup>国際医療福祉大学大学院、  
<sup>6</sup>苑田会 花はたりリハビリテーション病院 脳神経外科

2D2-2	<b>右上肢に間欠性運動開始困難を呈し、右片麻痺が合併した事例 - 食事動作の獲得を目指して -</b> .....	238
	伊藤 駿 (いとう しゅん)、西村 輝、大澤 竜司、薄井 星奈、井戸 芳和、堀内 博志 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	
2D2-3	<b>オノマトペを使用した口頭指示で ADL が改善した一例</b> .....	238
	鎌田 花子 <sup>1</sup> (かまた はなこ)、細川 大瑛 <sup>1,2</sup> 、阿部 千春 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 仙台東脳神経外科病院、 <sup>2</sup> 東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学分野	
2D2-4	<b>視覚情報の有無で変化する運動性保続の検討</b> .....	239
	津嶋 かれん <sup>1</sup> (つしま かれん)、前田 眞治 <sup>2</sup> 、近藤 智 <sup>1</sup> 、山本 潤 <sup>3</sup> <sup>1</sup> 厚木市立病院 リハビリテーション技術科、 <sup>2</sup> 国際医療福祉大学大学院 リハビリテーション学分野、 <sup>3</sup> 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科	
2D2-5	<b>病的把握現象に対する手袋装着の試み 一左前大脳動脈領域の脳梗塞の一症例一</b> .....	239
	荻野 祥代 <sup>1</sup> (おぎの さちよ)、早川 裕子 <sup>1</sup> 、瀬間 久美子 <sup>1</sup> 、高橋 素彦 <sup>1</sup> 、三村 将 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室	

<b>10:45~11:25</b> <b>口演:行為・動作の障害③</b> <b>座長:中川 賀嗣(北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科)</b>
--

2D3-1	<b>基本的な体性感覚の障害が強いにもかかわらず、複雑な体性感覚が 保たれていた右被殻出血の 1 例</b> .....	240
	花田 恵介 <sup>1,2</sup> (はなだ けいすけ)、亀田 弥 <sup>1</sup> 、下村 亮太 <sup>1</sup> 、河野 正志 <sup>1</sup> 、市村 幸盛 <sup>1</sup> 、平山 和美 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 穂翔会村田病院 リハビリテーション部、 <sup>2</sup> 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科	
2D3-2	<b>感覚障害を認めず把持動作の障害を中心とする使用失行が慢性的に 持続している 1 例</b> .....	240
	松川 勇 <sup>1</sup> (まつかわ いさむ)、船山 道隆 <sup>2</sup> 、中島 明日佳 <sup>1</sup> 、中村 智之 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 足利赤十字病院 リハビリテーション科部、 <sup>2</sup> 足利赤十字病院 神経精神科	
2D3-3	<b>触覚性消去現象，視覚性運動失調が調理動作に影響を及ぼした頭頂葉、 側頭葉病変の一例</b> .....	241
	山本 未来 (やまもと みらい)、吉田 倫子 錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部	
2D3-4	<b>重度の感覚障害を伴った症例における道具使用障害の解析</b> .....	241
	吉岡 実穂 <sup>1</sup> (よしおか みほ)、高木 早希 <sup>1</sup> 、大門 正太郎 <sup>2</sup> 、中川 賀嗣 <sup>3</sup> 、大槻 美佳 <sup>4</sup> <sup>1</sup> JA とりで総合医療センター リハビリテーション部、 <sup>2</sup> クラーク病院 リハビリテーション部、 <sup>3</sup> 北海道医療大学 リハビリテーション科学部、 <sup>4</sup> 北海道大学大学院 保健科学研究院	

11:45~12:35 ランチョンセミナー4

司会:長谷部 誠(公益財団法人 宮城厚生協会 泉病院)

LS4 心原性脳塞栓症の治療と予防はどこまで進んだか

板橋 亮 (いたばし りょう)

岩手医科大学医学部 内科学講座 神経内科・老年科分野

共催:第一三共株式会社

12:45~13:35 口演:外傷性脳損傷

座長:原 寛美(社会医療法人 ささき会 藍の都脳神経外科病院  
ニューロリハビリテーションセンター)

- 2D4-1 著しい脱抑制や興奮を呈する外傷性脳損傷例への積極的なリハビリテーション介入…………… 242  
青木 聖里菜<sup>1</sup> (あおき せりな)、船山 道隆<sup>2</sup>、松川 勇<sup>1</sup>、中島 明日佳<sup>1</sup>、  
中村 智之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>足利赤十字病院 リハビリテーション科部、<sup>2</sup>足利赤十字病院 神経精神科
- 2D4-2 神経心理学的検査に著明な障害を認めず談話発話で異常を呈した脳外傷の1例 … 242  
貫井 さと子<sup>1</sup> (ぬくい さとこ)、菅野 倫子<sup>2</sup>、草野 修輔<sup>3</sup>、多田 天子<sup>1</sup>、  
我妻 恵<sup>1</sup>、川村 なごみ<sup>1</sup>、石川 志帆<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学 三田病院 リハビリテーション室、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学成田キャンパス 言語聴覚学科、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学 三田病院 リハビリテーション科
- 2D4-3 頭部外傷による社会生活技能低下における集団活動の有用性について…………… 243  
佐藤 有希子 (さとう ゆきこ)  
甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション科
- 2D4-4 頭部外傷後のコミュニケーション障害と比喻皮肉・表情認知能力の関係…………… 243  
藤原 麻美子<sup>1,2</sup> (ふじわら まみこ)、種村 留美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸大学生命・医学系保健学域 リハビリテーション科学領域、  
<sup>2</sup>堺市立総合医療センター リハビリテーション技術科
- 2D4-5 時間的文脈の記憶障害を特徴とする“非”前脳基底部健忘の一例…………… 244  
齋藤 裕美子<sup>1</sup> (さいとう ゆみこ)、成田 渉<sup>1</sup>、川上 暢子<sup>1</sup>、小林 絵礼奈<sup>1</sup>、  
柿沼 一雄<sup>1</sup>、森田 亜由美<sup>2</sup>、菅野 重範<sup>1</sup>、鈴木 匡子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学、  
<sup>2</sup>東北大学病院 リハビリテーション部

13:45~14:35 口演:認知リハ

座長:上田 敬太(京都大学医学部附属病院 精神科神経科)

- 2D5-1 右前頭前野脳挫傷により前頭葉機能障害を呈した症例へのアプローチ：  
セットシフト訓練を中心とした介入…………… 244  
菅波 美穂<sup>1</sup> (すがなみ みほ)、小林 一夫<sup>1</sup>、今村 健太郎<sup>1</sup>、小松 三佐子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>和光リハビリテーション病院 リハビリテーション課、  
<sup>2</sup>理化学研究所脳神経科学研究センター

- 2D5-2 **マインドフルネス瞑想は高次脳機能障害者のストレスのコントロールに効果があるか  
—4 事例の予備的研究**…………… 245  
中岡 真弘<sup>1</sup> (なかおか まさひろ)、岩崎 道治<sup>1</sup>、花田 信<sup>1</sup>、増田 基嘉<sup>1</sup>、  
内藤 泰男<sup>2</sup>、納谷 敦夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター、  
<sup>2</sup>大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科、<sup>3</sup>なやクリニック
- 2D5-3 **職場復帰後うつ状態を呈した外傷性脳損傷者の気づきの変化と受容について  
～デイケアプログラムを通して～**…………… 245  
俵 あゆみ<sup>1</sup> (たわら あゆみ)、佐伯 裕美<sup>1</sup>、江尻 知穂<sup>1</sup>、蜂谷 敦子<sup>1</sup>、  
新藤 千夏<sup>1</sup>、李 彩織<sup>1</sup>、塚越 千尋<sup>1,2</sup>、納谷 敦夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>なやクリニック、<sup>2</sup>藍野大学医療保健学部
- 2D5-4 **カブグラ症状に対して相貌認知訓練を実施した 1 例** …………… 246  
小瀧 弘正<sup>1</sup> (こたき ひろまさ)、小瀧 美和<sup>2</sup>、上田 佳世<sup>1</sup>、熊澤 綾<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>市立奈良病院 言語療法室、<sup>2</sup>奈良県総合医療センター 言語療法室、  
<sup>3</sup>市立奈良病院 脳神経内科
- 2D5-5 **高次脳機能障害者の Self-awareness 特化型グループ介入における  
心理的ストレスの変化**…………… 246  
本多 伸行<sup>1</sup> (ほんだ のぶゆき)、種村 留美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>関西福祉科学大学 保健医療学部、<sup>2</sup>神戸大学 生命・医学系保健学領域

## E会場（11月29日（金）2日目）

8:45~9:45      口演:視空間      座長:武田 克彦(文京認知神経科学研究所)

- 2E1-1    **半側無視の気づきに影響を及ぼす因子の検討**  
**—BIT 行動性無視検査日本版（BIT）の下位項目に着目して—** …………… 249  
 中井 俊輔<sup>1,2</sup>（なかい しゅんすけ）、磯野 理<sup>3</sup>、田中 寛之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都民医連あすかい病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所、  
<sup>3</sup>京都民医連あすかい病院 神経内科
- 2E1-2    **右頭頂葉から後頭葉皮質下出血後に背側型同時失認と画像失認を呈した一例**…………… 249  
 太田 信子<sup>1</sup>（おおた のぶこ）、種村 純<sup>1</sup>、中藤 流以<sup>2</sup>、新井 伸征<sup>2</sup>、  
 花山 耕三<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語嚥嚥療法学科、  
<sup>2</sup>川崎医科大学リハビリテーション医学教室
- 2E1-3    **左側一側病変で視覚性注意障害（背側型同時失認）を来たした一例**…………… 250  
 大橋 ふさよ<sup>1</sup>（おおはし ふさよ）、水田 秀子<sup>1</sup>、山本 重典<sup>1</sup>、近藤 正樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>藤井会リハビリテーション病院、<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院 神経内科学
- 2E1-4    **Mental rotation test は心的視覚イメージの障害を反映する：**  
**神経心理検査と脳画像による検討**…………… 250  
 志賀 真理子<sup>1</sup>（しが まりこ）、佐藤 正之<sup>2,5</sup>、岡本 果林<sup>3</sup>、初村 拓毅<sup>3</sup>、  
 田部井 賢一<sup>2,8</sup>、松田 佳奈<sup>4,8</sup>、加藤 奈津子<sup>2,6,8</sup>、佐久間 肇<sup>7</sup>、冨本 秀和<sup>1,6,8</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター、  
<sup>2</sup>三重大学大学院医学系研究科 認知症医療学講座、<sup>3</sup>三重大学 医学部医学科、  
<sup>4</sup>三重大学医学部附属病院 リハビリテーション科、  
<sup>5</sup>三重大学医学部附属病院 認知症センター、<sup>6</sup>三重大学医学部附属病院 神経内科、  
<sup>7</sup>三重大学医学部附属病院 放射線診断科、  
<sup>8</sup>三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学
- 2E1-5    **左半側空間無視例における文章音読時の視線の分析**…………… 251  
 川崎 美里<sup>1</sup>（かわさき みさと）、阿部 晶子<sup>2</sup>、橋本 律夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学病院 リハビリテーション室、<sup>2</sup>国際医療福祉大学 言語聴覚学科、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学病院 脳神経内科
- 2E1-6    **ものを数えることに障害を呈した一症例 一色や形の違いの効果**…………… 251  
 井上 香<sup>1</sup>（いのうえ かおり）、中居 真紀子<sup>2</sup>、平山 和美<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形県立保健医療大学 保健医療学部 作業療法学科、<sup>2</sup>訪問看護ステーション愛あい

9:55~10:35 口演:病態失認 座長:前田 憲吾(国立病院機構東近江総合医療センター 神経内科)

- 2E2-1 急性期脳血管疾患患者におけるセルフアウェアネスの特徴…………… 252  
 岩村 友莉<sup>12</sup>(いわむら ゆり)、石丸 昌彦<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>菊名記念病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム、  
<sup>3</sup>放送大学 生活健康科学プログラム
- 2E2-2 病態失認に対するミラーセラピーの試み…………… 252  
 菅原 光晴<sup>1</sup>(すがわら みつはる)、前田 眞治<sup>2</sup>、原 麻理子<sup>3</sup>、山本 潤<sup>4</sup>、  
 近藤 智<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>清伸会ふじの温泉病院、<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院、  
<sup>3</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部、<sup>4</sup>国際医療福祉大学小田原保健医療学部、  
<sup>5</sup>厚木市立病院リハビリテーション技術課
- 2E2-3 体性感覚障害と半側空間無視のない病態失認の病巣と発現要因に関する検討…………… 253  
 近藤 智<sup>1</sup>(こんどう とも)、前田 眞治<sup>2</sup>、菅原 光晴<sup>3</sup>、原 麻理子<sup>4</sup>、  
 山本 潤<sup>5</sup>、掬川 晃一<sup>6</sup>、津島 かれん<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>厚木市立病院 リハビリテーション技術科、  
<sup>2</sup>国際医療福祉大学大学院 リハビリテーション学分野、  
<sup>3</sup>ふじ温泉病院 リハビリテーション科、<sup>4</sup>国際医療福祉大学 福岡保健医療学部、  
<sup>5</sup>国際医療福祉大学 小田原保健医療学部、  
<sup>6</sup>花はたりリハビリテーション病院 リハビリテーション科
- 2E2-4 左大脳半球損傷後に身体パラフレニアと余剰幻肢を長期間呈した一例…………… 253  
 小浜 尚也<sup>12</sup>(おばま なおや)、中原 成美<sup>1</sup>、古久保 さやか<sup>1</sup>、種村 純<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>倉敷記念病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究所、  
<sup>3</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部

10:45~11:35 口演:身体図式 座長:網本 和(首都大学東京人間健康科学研究科)

- 2E3-1 身体部位失認の一例 ～口頭依頼の種類を変えた検討～…………… 254  
 坂本 和貴<sup>12</sup>(さかもと かずたか)、平山 和美<sup>2</sup>、大高 美貴<sup>1</sup>、篠田 淳男<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>篠田総合病院リハビリセンター、<sup>2</sup>山形県立保健医療大学大学院作業療法学分野、  
<sup>3</sup>篠田総合病院脳神経外科
- 2E3-2 左頭頂側頭葉梗塞後の体性感覚障害のない半身喪失感  
 (conscious hemiasomatognosia) …………… 254  
 金澤 聡<sup>12</sup>(かねざわ さとし)、平山 和美<sup>23</sup>、成田 渉<sup>4</sup>、渡辺 裕志<sup>5</sup>、  
 松本 乾児<sup>5</sup>、佐々木 幸司<sup>6</sup>、森山 望<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>仙台リハビリテーション専門学校、  
<sup>2</sup>山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科作業療法学分野、  
<sup>3</sup>山形県立保健医療大学作業療学科、  
<sup>4</sup>東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学分野、  
<sup>5</sup>仙台リハビリテーション病院リハビリテーション科、  
<sup>6</sup>仙台リハビリテーション病院リハビリテーション部

- 2E3-3 **体性感覚障害がごく軽度にもかかわらず、余剰幻肢と、  
「左手が勝手に動く」症状を訴えた右橋出血の一例** ..... 255  
 細川 翔月<sup>1,2</sup> (ほそかわ かづき)、坂本 和貴<sup>1,2</sup>、國廣 華奈<sup>3</sup>、平山 和美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 篠田総合病院リハビリセンター、<sup>2</sup> 山形県立保健医療大学大学院、  
<sup>3</sup> 篠田総合病院脳神経外科
- 2E3-4 **身体部位失認の一例 ～写真を用いた、部分と全体についての検討～** ..... 255  
 坂本 和貴<sup>1,2</sup> (さかもと かずたか)、平山 和美<sup>2</sup>、大高 美貴<sup>1</sup>、篠田 淳男<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 篠田総合病院リハビリセンター、<sup>2</sup> 山形県立保健医療大学大学院作業療法学分野、  
<sup>3</sup> 篠田総合病院脳神経外科
- 2E3-5 **右被殻出血後に時間をあけて身体パラフレニアが現われた一症例** ..... 256  
 木本 祥子<sup>1,2</sup> (きもと しょうこ)、徳永 健太郎<sup>1</sup>、新谷 可恵<sup>1</sup>、田後 裕之<sup>1</sup>、  
 高橋 守正<sup>1</sup>、西川 隆<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 京都岡本記念病院リハビリテーション科、  
<sup>2</sup> 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科、<sup>3</sup> 奈良学園大学保健医療学部





2P4-3	<b>self-organizing map を用いた脳卒中患者における 軽度ビジランス機能低下の検出</b> …………… 267 牛尾 真也 <sup>1</sup> (うしお しんや)、矢田 かおり <sup>1</sup> 、松重 輝顕 <sup>2</sup> 、三澤 秀明 <sup>3</sup> 、 常盤 達司 <sup>4</sup> 、石附 智奈美 <sup>5</sup> 、宮口 英樹 <sup>5</sup> <sup>1</sup> 地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科、 <sup>2</sup> 地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立自立訓練施設、 <sup>3</sup> 宇部工業高等専門学校 電気工学科、 <sup>4</sup> 広島市立大学大学院 情報科学研究科、 <sup>5</sup> 広島大学大学院 医系科学研究科
2P4-4	<b>勤労者の年代別における注意検査と身体機能検査の検討</b> …………… 267 四元 孝道 <sup>1</sup> (よつもと たかみち)、井元 淳 <sup>1</sup> 、出口 順子 <sup>2</sup> 、福田 里香 <sup>2</sup> 、 淵 雅子 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部、 <sup>2</sup> 九州治療就労両立支援センター
2P4-5	<b>姿勢の違いによる注意機能検査成績への影響の検討</b> …………… 268 武田 千絵 <sup>1</sup> (たけだ ちえ)、能登谷 晶子 <sup>2</sup> 、砂原 伸行 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系、 <sup>2</sup> 京都先端科学大学 健康医療学部 言語聴覚学科

10:10~10:50 **ポスター:支援②**  
 座長:先崎 章(東京福祉大学 社会福祉学部/  
 埼玉県総合リハビリテーションセンター)

2P5-1	<b>低酸素性脳症後に脱抑制が見られた症例への自宅退院に向けた支援経過</b> …………… 268 塩屋 博史 <sup>1,2</sup> (しおや ひろし)、岡部 伸太郎 <sup>1</sup> 、三上 泉 <sup>1</sup> 、布谷 麻衣子 <sup>1</sup> 、 北内 京子 <sup>3</sup> 、辻野 精一 <sup>1</sup> <sup>1</sup> 大阪急性期・総合医療センター リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所、 <sup>3</sup> 大阪急性期・総合医療センター 精神科
2P5-2	<b>青年期における支援を考える その1 ~複数の症例から見た支援の実際~</b> …………… 269 小菅 倫子 <sup>1</sup> (こすげ ともこ)、小倉 由紀 <sup>1</sup> 、揚戸 薫 <sup>1</sup> 、前島 潤子 <sup>1</sup> 、 田中 葉子 <sup>1</sup> 、三浦 麻由佳 <sup>1</sup> 、廣瀬 綾奈 <sup>2</sup> 、坂田 宏 <sup>3</sup> 、吉永 勝訓 <sup>4</sup> <sup>1</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター、 <sup>2</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション療法部、 <sup>3</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター 更生園、 <sup>4</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター 診療部
2P5-3	<b>青年期における支援を考える その2                  ~卒業時進路決定できず、1年をかけて意思決定するまでのプロセス~</b> …………… 269 揚戸 薫 <sup>1</sup> (あげと かおる)、田中 葉子 <sup>1</sup> 、小菅 倫子 <sup>1</sup> 、小倉 由紀 <sup>1</sup> 、 田邊 良 <sup>2</sup> 、吉永 勝訓 <sup>2</sup> <sup>1</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援センター、 <sup>2</sup> 千葉県千葉リハビリテーションセンター診療部
2P5-4	<b>高次脳機能障害者に対する問題解決プログラムの作成とその効果の検討                  —予備的研究—</b> …………… 270 有働 早紀奈 (うどう さきな)、澤田 梢、宗澤 人和、木村 加奈子、 安井 傑、近藤 啓太 広島県立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能センター

2P5-5	<b>高次脳機能障害者への通院グループアプローチに関する統計学的検討 4 多軸評価の整合性に関する探索的研究</b> …………… 270
	永井 喜子 <sup>1</sup> (ながい よしこ)、殿村 暁 <sup>2</sup> 、白川 大平 <sup>2</sup> 、青木 重陽 <sup>3</sup> 、 福井 遼太 <sup>3</sup> 、鄭 健錫 <sup>3</sup> 、久保 義郎 <sup>4</sup> 、渡邊 由己 <sup>5</sup>
	<sup>1</sup> 神奈川リハビリテーション病院 総合相談室、 <sup>2</sup> 神奈川リハビリテーション病院 心理科、 <sup>3</sup> 神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科、 <sup>4</sup> 桜美林大学 健康福祉学群、 <sup>5</sup> 田園調布学園大学 人間科学部

10:50~11:14	<b>ポスター：読み書き障害② 座長：遠藤 佳子(東北大学病院 リハビリテーション部)</b>
-------------	---

2P6-1	<b>左上頭頂小葉と左中前頭回を中心とした多発脳梗塞により、 失行性失書と Gerstmann 症候群を呈した一例</b> …………… 271
	関 雪乃 <sup>1</sup> (せき ゆきの)、飯塚 航平 <sup>1</sup> 、平田 樹伸 <sup>1</sup> 、國友 淳子 <sup>1</sup> 、山本 満 <sup>2</sup>
	<sup>1</sup> 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部、 <sup>2</sup> 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科
2P6-2	<b>伝導失語症患者における音韻性錯書についての質的検討</b> …………… 271
	地主 千尋 <sup>1</sup> (じぬし ちひろ)、大石 斐子 <sup>2</sup> 、内田 信也 <sup>2</sup>
	<sup>1</sup> 国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科、 <sup>2</sup> 国際医療福祉大学 成田保健医療福祉学部 言語聴覚学科
2P6-3	<b>変性疾患例に見られた特異な仮名の錯書に関する一考察</b> …………… 272
	高崎 昭博 <sup>1,2</sup> (たかさき あきひろ)、宮川 雄介 <sup>2</sup> 、渡邊 友起絵 <sup>2</sup> 、 竹尾 美咲 <sup>2</sup> 、石川 智久 <sup>2</sup> 、福原 竜治 <sup>2</sup> 、橋本 衛 <sup>3</sup> 、竹林 実 <sup>2,4</sup>
	<sup>1</sup> 熊本大学大学院 医学教育部、 <sup>2</sup> 熊本大学病院 神経精神科、 <sup>3</sup> 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学寄附講座、 <sup>4</sup> 熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学講座

9:30~10:10	<b>ポスター：進行性失語 座長：中村 光(岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科)</b>
------------	---

2P7-1	<b>進行性非流暢性失語症患者の継時的経過—呼称における音声分析の試み—</b> …………… 272
	宮崎 彰子 <sup>1,3</sup> (みやざき あきこ)、川崎 美香 <sup>1</sup> 、難波 文恵 <sup>2</sup> 、種村 純 <sup>1,3</sup> 、 平岡 崇 <sup>4</sup> 、花山 耕三 <sup>4</sup>
	<sup>1</sup> 川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター、 <sup>2</sup> 川崎医療福祉大学医療技術学部大学院、 <sup>3</sup> 川崎医療福祉大学 言語聴覚療法学科、 <sup>4</sup> 川崎医科大学 リハビリテーション医学教室
2P7-2	<b>Primary progressive dynamic aphasia を呈した左利きの一例</b> …………… 273
	木田 由貴子 <sup>1,3</sup> (きだ ゆきこ)、高橋 和也 <sup>1,2,3</sup> 、本崎 裕子 <sup>1,2,3</sup> 、駒井 清暢 <sup>2,3</sup>
	<sup>1</sup> 国立病院機構医王病院リハビリテーション科、 <sup>2</sup> 国立病院機構医王病院脳神経内科、 <sup>3</sup> 北陸脳神経筋疾患センター
2P7-3	<b>初期の意味型進行性失語 (svPPA) 患者における語義レベルの 障害の進行 (第 2 報)</b> …………… 273
	植田 恵 <sup>1</sup> (うえた めぐみ)、高山 豊 <sup>2,3</sup> 、中野 祥行 <sup>3</sup> 、新井 平伊 <sup>4</sup>
	<sup>1</sup> 帝京平成大学言語聴覚学科、 <sup>2</sup> 南八街病院、 <sup>3</sup> 順天堂大学医学部附属順天堂医院メンタルクリニック、 <sup>4</sup> 順天堂大学医学部精神医学教室

- 2P7-4 **非流暢性失語で発症した進行性核上性麻痺の1例** ..... 274  
 内山 良則<sup>1</sup> (うちやま よしのり)、神吉 理枝<sup>2</sup>、吉村 賢二<sup>3</sup>、松田 実<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>西宮協立脳神経外科病院 脳神経内科、<sup>3</sup>京都大学大学院医学系研究科臨床神経学、  
<sup>4</sup>清山会いずみの杜診療所
- 2P7-5 **非定型的な言語症状を呈した皮質基底核症候群 (CBS) の2例  
 -Logopenic 型失語と後天性吃音のリハビリ経過-** ..... 274  
 前田 理沙<sup>1</sup> (まえだ りさ)、新原 未菜美<sup>1</sup>、田中 尚<sup>1</sup>、辰己 新水<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>八尾徳洲会総合病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>八尾徳洲会総合病院神経内科

10:10~10:42 **ポスター：読み書き障害①**  
 座長：伊集院睦雄(公立大学法人 県立広島大学 保健福祉学部  
 コミュニケーション障害学科)

- 2P8-1 **左側頭葉後下部病変にて軽度失語症と漢字の失読失書を呈した1症例** ..... 275  
 三宅 達也<sup>1</sup> (みやけ たつや)、辰巳 寛<sup>2</sup>、金森 薫子<sup>1</sup>、高橋 摩耶<sup>1</sup>、  
 近藤 辰磨<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第二赤十字病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>愛知学院大学 心身科学部、  
<sup>3</sup>名古屋第二赤十字病院 脳神経外科
- 2P8-2 **読み書き障害を呈した失語症患者における五十音順でのかな文字学習の効果** ..... 275  
 大西 友香 (おおにし ともか)、森脇 繁登、佐藤 千晃、伊藤 路子、  
 後藤 雪絵、吉田 朝海、奥野 智寛  
 島根大学医学部附属病院
- 2P8-3 **漢字の失読失書を呈した硬膜動静脈瘻 (dAVF) の一例  
 -手術前後のリハビリ経過-** ..... 276  
 新原 未菜美<sup>1</sup> (しんばら みなみ)、前田 理沙<sup>1</sup>、田中 尚<sup>1</sup>、吉村 政樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>八尾徳洲会総合病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>八尾徳洲会総合病院脳神経外科
- 2P8-4 **仮名1文字の書取能力向上のために漢字1文字をキーワードとした訓練の有効性  
 ー第2報：単語への効果ー** ..... 276  
 大森 史隆<sup>1</sup> (おおもり ふみたか)、水本 豪<sup>2</sup>、橋本 幸成<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>福岡歯科大学医科歯科総合病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>熊本保健科学大学 保健科学部 共通教育センター、  
<sup>3</sup>JCHO 熊本総合病院 リハビリテーション部

10:42~11:14 **ポスター：検査③**  
 座長：福永 真哉(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科)

- 2P9-1 **JCAT で用いるイラスト選定のための名称一致度調査結果について** ..... 277  
 吉畑 博代<sup>1</sup> (よしはた ひろよ)、渡邊 理恵<sup>2</sup>、杉山 貴子<sup>3</sup>、伊集院 睦雄<sup>4</sup>、  
 綿森 淑子<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>上智大学大学院言語科学研究科言語聴覚研究コース、<sup>2</sup>東京共済病院 言語聴覚療法室、  
<sup>3</sup>東京都立墨東病院 リハビリテーション科、<sup>4</sup>県立広島大学 保健福祉学部、  
<sup>5</sup>広島県立保健福祉大学名誉教授

- 2P9-2 **軽度失語症者の「舌の先現象」と語彙記憶のモニタリングに関する検討**…………… 277  
 黒崎 芳子<sup>1</sup> (くろさき よしこ)、船山 道隆<sup>2</sup>、野村 昌邦<sup>3</sup>、石合 純夫<sup>4</sup>、  
 辰巳 寛<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>北海道医療大学リハビリテーション科学部、<sup>2</sup>足利赤十字病院精神神経科、  
<sup>3</sup>函館脳神経外科病院リハビリテーション科、  
<sup>4</sup>札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座、  
<sup>5</sup>愛知学院大学心身科学部健康科学科
- 2P9-3 **JCAT 下位検査で用いる刺激語の選定：  
 音読における単語属性効果の検討を通して**…………… 278  
 杉山 貴子<sup>1</sup> (すぎやま たかこ)、吉畑 博代<sup>2</sup>、渡邊 理恵<sup>3</sup>、伊集院 陸雄<sup>4</sup>、  
 綿森 淑子<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>東京都立墨東病院 リハビリテーション科、  
<sup>2</sup>上智大学大学院言語科学研究科言語聴覚研究コース、<sup>3</sup>東京共済病院 言語聴覚療法室、  
<sup>4</sup>県立広島大学 保健福祉学部、<sup>5</sup>広島県立保健福祉大学名誉教授
- 2P9-4 **左右対称運動の動作方法が自己主体感や身体所有感に与える影響**…………… 278  
 平田 輝<sup>1</sup> (ひらた あきら)、山田 千晴<sup>2</sup>、板口 典弘<sup>3</sup>、桂 誠一郎<sup>4</sup>、  
 吉澤 浩志<sup>5</sup>、福澤 一吉<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学大学院 理工学研究科総合デザイン工学専攻、  
<sup>2</sup>早稲田大学大学院 文学研究科心理学教室・日本学術振興会、  
<sup>3</sup>静岡大学 情報学部情報科学科、<sup>4</sup>慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科、  
<sup>5</sup>東京女子医科大学 脳神経内科、<sup>6</sup>早稲田大学 文学部心理学教室

9:30~10:02	ポスター:記憶障害	座長:辰巳 寛(愛知学院大学 心身科学部)
------------	-----------	-----------------------

- 2P10-1 **両側前頭葉皮質下出血後に作話を呈した1例**…………… 279  
 上田 有紀人<sup>1</sup> (うえだ ゆきと)、佐藤 正之<sup>2</sup>、松田 佳奈<sup>1,3</sup>、安田 竜太<sup>4</sup>、  
 鈴木 秀謙<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>三重大学大学院医学系研究科 認知症医療学、  
<sup>3</sup>三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学、  
<sup>4</sup>三重大学大学院医学系研究科 脳神経外科学
- 2P10-2 **記憶障害を含めた重複障害を抱えるクライアントに対する  
 代償手段活用に向けた心理的アプローチ**…………… 279  
 宇野 良明<sup>1</sup> (うの よしあき)、中島 恵子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>帝京平成大学大学院臨床心理学研究科、<sup>2</sup>京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科
- 2P10-3 **辺縁系脳炎にて重度の健忘症候群を呈した1例** …………… 280  
 高橋 摩耶<sup>1</sup> (たかはし まや)、辰巳 寛<sup>2</sup>、三宅 達也<sup>1</sup>、寺島 有希子<sup>1</sup>、  
 荒木 周<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>名古屋第二赤十字病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>愛知学院大学 心身科学部、  
<sup>3</sup>名古屋第二赤十字病院 脳神経内科

- 2P10-4 **自伝的記憶と社会的記憶で障害された時期が異なる  
Remote memory impairment の一例** ..... 280  
 尾久 守侑<sup>1,3</sup> (おぎゆう かみゆ)、久保田 圭子<sup>2</sup>、野崎 昭子<sup>1</sup>、女屋 光基<sup>1</sup>、  
 三村 将<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 国立病院機構下総精神医療センター 精神科、  
<sup>2</sup> 国立病院機構下総精神医療センター 臨床心理室、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室

10:02~10:34 **ポスター:行為・動作の障害 座長:近藤 正樹(京都府立医科大学大学院神経内科学)**

- 2P11-1 **経口摂取困難の主要因が失行・注意障害と考えられた症例が  
3食経口摂取可能となるまでの経過** ..... 281  
 久野 舞子<sup>1</sup> (ひさの まいこ)、大澤 康貴<sup>1</sup>、安ヶ平 菜都子<sup>1</sup>、齋藤 真海子<sup>1</sup>、  
 小野 久里子<sup>2</sup>、鈴木 活水<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 武蔵村山病院 リハビリテーション室、  
<sup>2</sup> 国立障害者リハビリテーション学院 言語聴覚学科
- 2P11-2 **特異な高次脳機能障害を呈した後部皮質萎縮症の一例** ..... 281  
 伊藤 悠人<sup>1</sup> (いとう ゆうと)、片山 薫<sup>1</sup>、平野 成樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 千葉みなとリハビリテーション病院、<sup>2</sup> 千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科
- 2P11-3 **左後頭葉から側頭葉先端部の広範囲脳梗塞により道具の使用障害を  
呈した 1 症例** ..... 282  
 坪井 理佳<sup>1</sup> (つばい りか)、若尾 佳代<sup>1</sup>、山下 豊<sup>1</sup>、藤岡 哲平<sup>2</sup>、植木 美乃<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 名古屋市立大学病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup> 名古屋市立大学病院 神経内科
- 2P11-4 **右中大脳動脈領域梗塞後に開眼失行を呈した 1 例** ..... 282  
 大西 慶彦<sup>1</sup> (おおにし よしひこ)、難波 忠明<sup>2</sup>、林 佳宏<sup>1</sup>、西野 昌宏<sup>3</sup>、  
 田中 尚<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 音羽病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup> 音羽記念病院 経営管理部、  
<sup>3</sup> 丸太町病院 リハビリテーション部、<sup>4</sup> 八尾徳洲会総合病院 リハビリテーション科

10:34~11:14 **ポスター:小児 座長:春原 則子(目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科)**

- 2P12-1 **日本語版 School Function Assessment の日本文化への適応の検討** ..... 283  
 馬屋原 誠司<sup>1</sup> (まやはら せいじ)、中島 恵子<sup>2</sup>、服部 環<sup>3</sup>、金築 優<sup>3</sup>  
<sup>1</sup> 広島市教育委員会、<sup>2</sup> 京都文教大学 臨床心理学部 臨床心理学科、  
<sup>3</sup> 法政大学 現代福祉学部 人間社会研究科
- 2P12-2 **小児髄芽腫患者 2 症例における高次脳機能と社会的能力の特徴** ..... 283  
 加藤 野百合<sup>1</sup> (かとう のゆり)、山脇 理恵<sup>1</sup>、田畑 阿美<sup>2</sup>、草野 佑介<sup>1</sup>、  
 上田 敬太<sup>3</sup>、梅田 雄嗣<sup>4</sup>、池口 良輔<sup>1,5</sup>、松田 秀一<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup> 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、  
<sup>3</sup> 京都大学医学部附属病院精神科神経科、<sup>4</sup> 京都大学医学部附属病院小児科、  
<sup>5</sup> 京都大学大学院医学研究科整形外科学

- 2P12-3 **高安動脈炎起因の多発性脳梗塞にて高次脳機能障害を呈した小児症例**…………… 284  
 竹下 盛<sup>1</sup> (たけした たかし)、福井 美保<sup>2,3</sup>、島川 修一<sup>2</sup>、岡本 奈美<sup>2</sup>、  
 大槻 美佳<sup>4</sup>、玉井 浩<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>大阪医科大学 LD センター、<sup>2</sup>大阪医科大学付属病院 小児科、  
<sup>3</sup>大阪医科大学 小児高次脳機能研究所、<sup>4</sup>北海道大学大学院保健学科研究院
- 2P12-4 **幼児期に発症した小児失語症例の急性期の経過**…………… 284  
 日浦 麻緒<sup>1</sup> (ひうら まお)、温井 めぐみ<sup>1,2</sup>、沖 啓祐<sup>1</sup>、小川 智江<sup>1</sup>、  
 草間 由実子<sup>1</sup>、永安 香<sup>1</sup>、山本 直寛<sup>2</sup>、九鬼 一郎<sup>2</sup>、川脇 壽<sup>2</sup>、愛場 庸雅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター 小児言語科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センター 小児神経内科
- 2P12-5 **左半球に広範な皮質形成異常を認め、幼児期に難治性てんかんを発症した患者における高次脳機能の分布**…………… 285  
 沖 啓祐<sup>1</sup> (おき けいすけ)、温井 めぐみ<sup>1,2</sup>、内山 良則<sup>3</sup>、日浦 麻緒<sup>1</sup>、  
 小川 智江<sup>1</sup>、草間 由実子<sup>1</sup>、永安 香<sup>1</sup>、山本 直寛<sup>2</sup>、井上 岳司<sup>2</sup>、  
 九鬼 一郎<sup>2</sup>、川脇 壽<sup>2</sup>、愛場 庸雅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター 小児言語科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センター 小児神経内科、  
<sup>3</sup>大阪市立総合医療センター リハビリテーション科